

開講科目名 / Course	健康運動ボランティア演習（救急法含む）	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	稲垣 敦	
担当教員名 / Instructor	稲垣 敦	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	<p>人、社会、自然と直接かかわるボランティアを通して、他者や社会に役立つことで喜びを感じ、人間としてごく自然な温かい感情を育む。地域や社会の構成員としての自覚を確認し、相互に支え合うという意識を醸成する。学習意欲を高め、就職を含め将来の人生設計に役立てる。</p> <p>また、救命救急法を学び、日常の救急場面に対応できる知識・技術を身につける。</p>	
到達目標	<p>1. 個人や社会におけるボランティア活動の意義を説明できる。</p> <p>2. 日常の救急場面に対応できる。</p>	
DPとの対応	<p>1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力</p>	
授業計画	<p>01. オリエンテーション、レクリエーション</p> <p>02. 希望調査</p> <p>03-14. 各種ボランティア活動（週末等）、救急法（日程未定）</p> <p>15. 討論</p>	
その他の授業の工夫	<p>1) ボランティアの希望調査を行い、受講者が主体的に異種のボランティアを選ぶ。</p> <p>2) 学外の組織や本学の教員ほか多くの方々に協力して頂く。</p>	
時間外学修	各ボランティア終了後、レポートを作成して提出する。	
評価方法と評価割合	ボランティアのレポート(50%)、救急法の認定証の取得(50%)	
テキスト	必要に応じて資料を配付。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	ボランティアを通して、人にとって、社会にとって、そして、これからのあなたの人生において重要なことに気づきます。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	稲垣敦：日本体育測定評価学会会長、大分県スポーツ学会代表理事
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	健康・体力チェックに関するボランティアでは、目的や対象者にあったチェック項目を選択し、準備や設営、測定評価法等を適切に指導する。	